

ニュース

自転車で琵琶湖1周 認定証、近く500枚に

自転車で琵琶湖を1周する「ビワイチ」の魅力を発信する「輪の国びわ湖推進協議会」(彦根市)が1周達成者に発行している認定証が、近く500枚を超える見通しとなった。認知度が高まる中で、計10周した「猛者」が現れるなど愛好家も増えてきた。

同協議会は自転車や環境をテーマに県内などで活動する12団体で構成。2009年10月の発足時からビワイチの達成者に琵琶湖岸のヨシで作った認定証を発行している。

現在、認定証の累計発行枚数は495枚(重複含む)。地域別は、滋賀県の164人が最多だが、北海道から鹿児島県まで計31都道府県にわたる。世代も小学生から70代まで幅広い。今年3月にはビワイチで初めて10周達成者が登場し、ゴールドステッカーを贈った。5周達成者も現在2人いるという。

ビワイチ達成は、同協議会が湖岸沿いの14カ所に設けているQRコードを使って認定する。認定証を受けとるには、携帯電話を使って4カ所以上でQRコードを読み取り、専用サイトにつないで地元ゆかりのクイズに答える必要がある。

竹内洋行副会長(39)は「さらに多くの人にビワイチを楽しんでほしい」と話し、ホームページの活用を呼びかけている。同協議会TEL0749(26)1463。



「輪の国びわ湖推進協議会」が発行する自転車での琵琶湖一周の認定証
(大津市・県庁)